

改組 新 第 4 回 日展 大分展

わが国で最も長い伝統を有し、また最大の規模を誇る公募美術団体「日展」は、百年を超える歴史の中で、多くの才能あふれる作家を世に送り出し、常にわが国の美術界をリードしてきました。大分県からもここを舞台に、朝倉文夫、福田平八郎、高山辰雄、岩澤重夫らが活躍し、わが国の美術界に大きな足跡を残しています。

大分では8年ぶりの開催となる今回の巡回展では、平成29年秋に開催された改組新第4回日展出品作2,931点の中から厳選された主要作家および受賞作家の作品246点（巡回展基本選定作品）に、大分県関係作家・福岡県在住作家の作品を加えた約300点を展示。現代の日本美術界で活躍する巨匠から中堅、新鋭までの近作を一堂に紹介します。

【開催概要】

展覧会名：「改組 新 第 4 回 日展 大分展 日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書」

会 期：2018年4月5日（木）～5月6日（日）※休展日なし

会 場：大分県立美術館 1階 展示室A/3階 展示室B

開館時間：10:00～19:00（金・土は20:00まで/最終入場は閉館の30分前まで）

観 覧 料：一般1,200（1,000）円 大学生・高校生700（500）円

*（ ）内は20名以上の団体料金 *中学生以下は無料

*大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料（同伴者1名半額）、TAKASAGO無料、UME団体料金

*障がい者手帳等をご提示の方とその付添者（1名）は無料 *学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。

*本展観覧券の半券で、会期中に限りコレクション展を団体料金でご覧いただけます。

お問い合わせ：大分県立美術館 Tel：097-533-4500 Fax：097-533-4567

ウェブサイト：<https://www.opam.jp/exhibitions/detail/319>

フェイスブック：<http://www.facebook.com/opamoita>

主 催：改組新第4回日展大分展実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、大分合同新聞社、OBS大分放送

共 催：公益社団法人日展

協 賛：大分航空ターミナル株式会社、株式会社大分銀行、株式会社オーシー、株式会社日建コンサルタント、株式会社まるひで

後 援：大分県、大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、西日本新聞社、NHK大分放送局、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社

出品点数：約300点



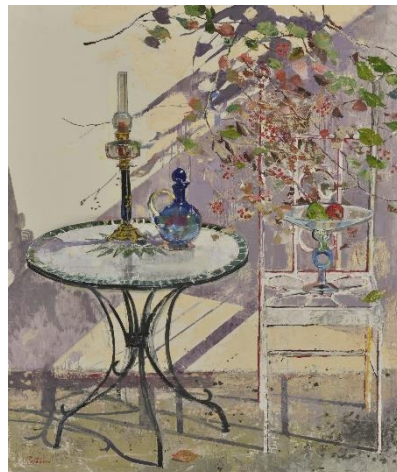
奥田小由女《海からの生還》



井茂圭洞《八田若郎女をおもう歌》



能島征二《永久に》



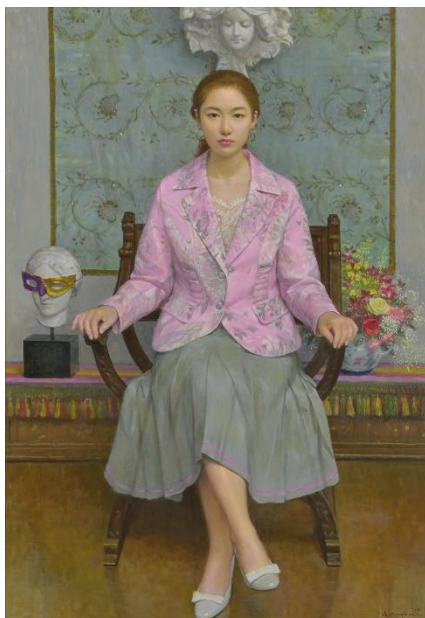
佐藤 哲《冬の陽》



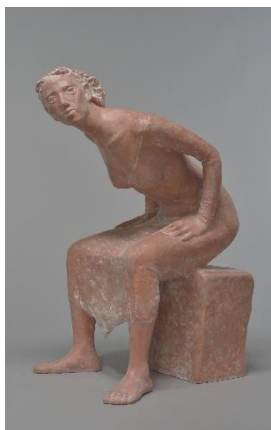
土屋禮一《雄飛》



大樋年朗《黒陶幾何紋花器》



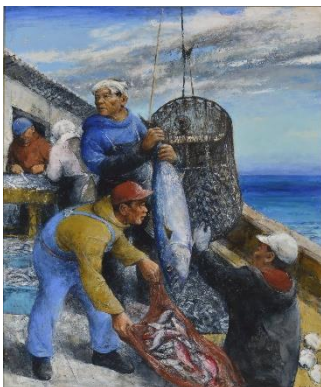
中山忠彦《私とは誰か？》



辻畑隆子《スクット立つ女》



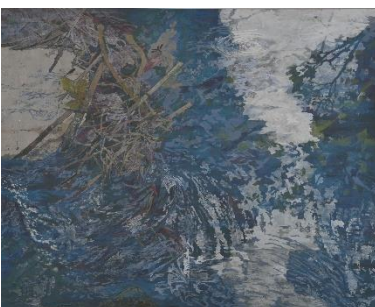
神戸峰男《智》



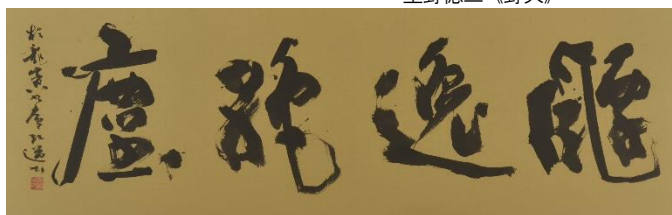
工藤和男《人と魚》



生野徳三《野火》



南 聡《森を映す》



星 弘道《飘逸絶塵》



山崎隆夫《雲映ゆる》

〔関連イベント〕

ギャラリー・トーク

■4月5日（木）10：00～ ※テーブルカット終了後
展示指導の先生方がご案内します。

（日本画）渡辺信喜氏（洋画）佐藤哲氏（彫刻）能島征二氏（工芸美術）春山文典氏（書）新井光風氏

■4月6日（金）、13日（金）、20日（金）、27日（金）、5月4日（金）18：00～19：00

会 場：大分県立美術館 1階 展示室A または 3階 展示室B

案 内：当館学芸員 申 込：不要（参加には当日観覧券が必要です） 参 加 費：無料

〔メディア向け内覧会〕

日 時：4月5日（木）内覧会 9：30～（受付9：15～ 1階入口にて）

※招待者および大分県芸術文化友の会 びびメンバー向け内覧会も同時に行います。

お申し込み：以下のフォームにご記入の上、メールまたはFAXにて、4月3日（火）までにお申し込みください。

貴社名：	媒体名(ご担当部署)：
代表者お名前：	参加人数：
電話番号：	当日の連絡先：

■「改組 新 第4回 日展 大分展」リリースに関するお問い合わせ
大分県立美術館 美術管理課 広報担当 宇都宮・木藤・植木・後藤
Tel：097-533-4500 / Fax：097-533-4567 / Email：info@opam.jp